

独自養成女性研究者支援を受けて

研究院 生活環境科学系 住環境学領域 室崎 千重

3年間の独自養成女性研究者支援をいただき、基本的な研究環境の整備が行えたこと、研究を進展させるための調査旅費や学会発表の機会を得ることができました。充実した支援をいただき感謝いたします。3年間の主な研究活動内容と成果は以下の通りです。

1. 触覚を活かした新たな観光手法の提案

視覚障がい者の視覚によらない“触覚”を用いた観光手法を進展させることにより、晴眼者も視覚障がい者もより楽しめる新たな観光手法を提案した。触る観光の手法と魅力を探るための視覚障がいの方の観光動向調査と新たな観光ツール試作品の評価実験の結果をもとにして、だれもが触る観光を楽しむことができる“触れあるき東大寺”という触る観光マップを作成した。独自養成女性研究者支援により、マップを実際に配布して多くの方に体験して評価いただくことができた。

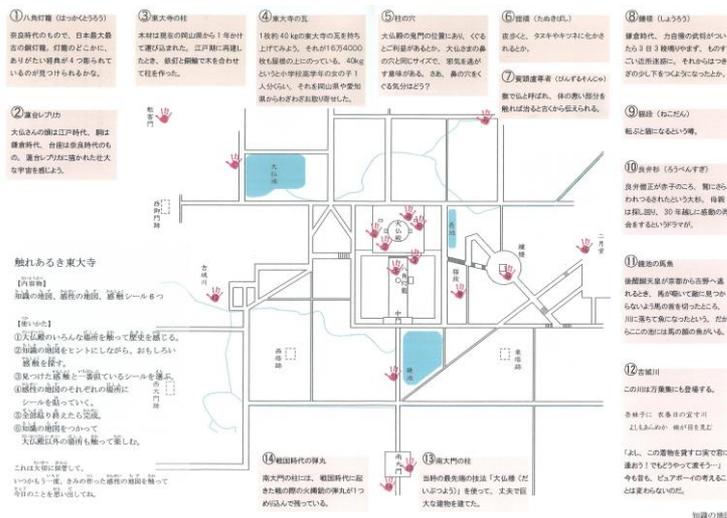


図 1. “触れあるき東大寺”知識の地図

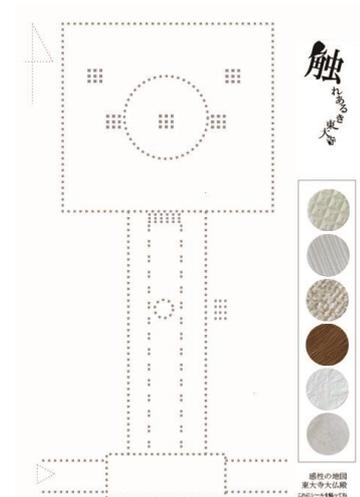


図 2. 感性の地図と感触シール

2. 公営住宅住戸内のバリアフリー整備に関する研究

財源不足や耐用年数等から、修繕しながら住み続ける公営住宅は多く存在する。既存階段室型住棟の1階住戸を車いす使用者対応のバリアフリー整備住戸の使いやすさを動作検証により評価し、今後の展開に向けた整備課題を明らかにした。課題として、設計時点の不備、施行時点で生じる不備、キッチンや浴槽など設備機器自体の不備の3点が把握できた。この結果をもとに立ち上げた車椅子使用者用のキッチン製品の不備の改善に向けた研究は、2015年12月に競争的外部資金を獲得し新たに展開するところである。独自養成女性研究者支援により研究をはじめの基盤とステップアップに繋がる成果を得ることができた。



図 3. 車椅子用キッチン